

# 子どもたちの心に郷土愛を育む ～学校・家庭・地域一体となって～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
尼崎市立 尼崎北小学校	尼崎市立尼崎北小学校運営協議会 令和3年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 1名 1名 地域コーディネーター 名 名	尼崎北小学校 地域連携協働本部



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

尼崎北小学校の校区には、今からおよそ500年前の城館跡「富松城跡」や地域の農家が伝えてきた伝統野菜「富松一寸豆」、伝統芸能である能楽の普及のために昭和55年から地域の神社の境内で「富松薪能」が行われる等、地域に伝承されてきた豊かな歴史、文化、伝統があり、地域の中で次世代に継承していこうとする取組が行われている。また、防犯グループによる、登下校の見守りや地域住民による学習支援など子どもたちの健やかな成長を地域が学校とともに支えている。

### 目標や目指す姿(学校)

地域資源を活用した学習の充実と地域との連携

### 目標や目指す姿(地域)

子どもたちの郷土愛の育成と地域の魅力づくり



## の特徴

### 委員の立場や属性等

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> まちづくり委員会関係者   | <input type="checkbox"/> 学校評議員 |
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員   | <input type="checkbox"/> 教職員   |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA       | <input type="checkbox"/>       |
| <input type="checkbox"/> 元校長           | など、計 <b>11</b> 名で構成            |
| <input type="checkbox"/> 学校支援者(ボランティア) | 年間平均 <b>3</b> 回程度開催            |

### 効果的な運営の工夫

以前から、地域学習や子どもの見守り等に取り組んできた地域学校協働本部をベースに学校運営協議会を立ち上げ、学校の特色である地域の歴史、文化、伝統等、子どもたちの地域学習の充実について協議を行っている。

また、学校運営協議会で協議したことを学校の教育活動に機動的に反映させるため、学校管理職以外の教員3人が参画し、他の教職員と地域とのつながりが、より実践的なものとなるよう工夫をしている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

子どもたちの地域への愛着心を深めるため、伝統野菜の富松一寸豆の栽培では、地域で伝承活動をされている方々に、能楽では地域で活躍されている能楽コーディネーターに実演を交えて教えていただくこと等を協議している。



学校運営協議会

### 地域学校協働活動

富松城跡を活かすまちづくり委員会との連携・協働により関西学院大学ゼミ生との地域学習を行っている。戦国時代の城館跡「富松城跡」や、伝統野菜の富松一寸豆等を教材として地域学習に取り組んでいる。



関学大ゼミとの地域授業

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

- ◆地域の魅力である富松一寸豆や富松城跡、能楽の伝承等について地域学校協働本部で活躍しているメンバーと学校運営協議会のメンバーの合同会議「全体会」を開催し、尼崎北小学校を支える多様な人々が一堂に会する機会を設けている。
- ◆学校運営協議会に尼崎市立花地域振興センターがオブザーバーとして参画し、富松城跡を活かすまちづくり委員会と関西学院大学ゼミ生のつながりを活かした地域学校協働活動を展開している。

## 取組

## 成果・効果

### ①教職員の地域との連携に関する意識の変化

今までは、管理職以外の教職員にとって、地域住民への依頼や意見交換等は、敷居が高く感じがちであったが、定期的に膝を交えて、地域と学校がめざす教育や地域学習の在り方、子どもの実態について話す中、学校が地域とともにあることを実感し、地域との連携に関し、積極的に捉えるようになっていった意識の変化があった。

### ②地域とのきめ細かな情報共有による地域学習の充実

これまでの地域学習の主なもの、地域人材によるゲストティーチャーの講話や実演の鑑賞といった子どもたちにとっては、一方の授業になりがちであった。学校運営協議会に管理職に加え教職員が参画し、授業のねらいや子どもへの配慮事項等、学校のニーズをしっかりと発信し、地域ときめ細かな情報共有を行うことで、伝統芸能を学ぶにあたっては、子どもたちが能の一部を演じたり、地域を学ぶ調べ学習においては、事前に自分たちが調べたことを地域の方に尋ねて学びを深めるなど、双方向的な体験型学習に発展し、授業が魅力的なものとなることで、子どもたちにとって生きた学習となっている。